

令和4年(2022年)6月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2022年6月 数量 (トン)	2022年6月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	千葉県産中心の入荷でした。作柄が悪く数量はやや減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	346	176	96%	126%
2		キャベツ	千葉県産・茨城県産中心の入荷でした。全体的にやや遅れ気味の出荷となり、数量は減少しました。平均単価についてはやや安く推移しました。	960	88	87%	95%
3		トマト	気温が低かった影響により数量はやや減少しました。平均価格についてはやや高く推移しました。	429	337	96%	105%
4		レタス	長野県産中心の入荷でした。入荷量はやや減少し、平均単価はやや高く推移しました。	502	172	92%	108%
5		たまねぎ	香川県産・佐賀県産・兵庫県産中心の入荷でした。入荷量は減少し、平均単価は大幅に高く推移しました。	435	226	86%	204%
6	果実	もも	前進出荷となり、入荷量は増加しました。平均単価はやや高く推移しました。	63	816	119%	104%
7		メロン	九州産地等の不作により数量減が続いていたが、関東産地の前進出荷により、数量が回復したものの例年と比べるとやや減少しました。平均単価は高く推移しました。	323	467	96%	112%
8		桜桃	前年の大不作であったことから数量は大幅に増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	42	2,209	156%	96%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上